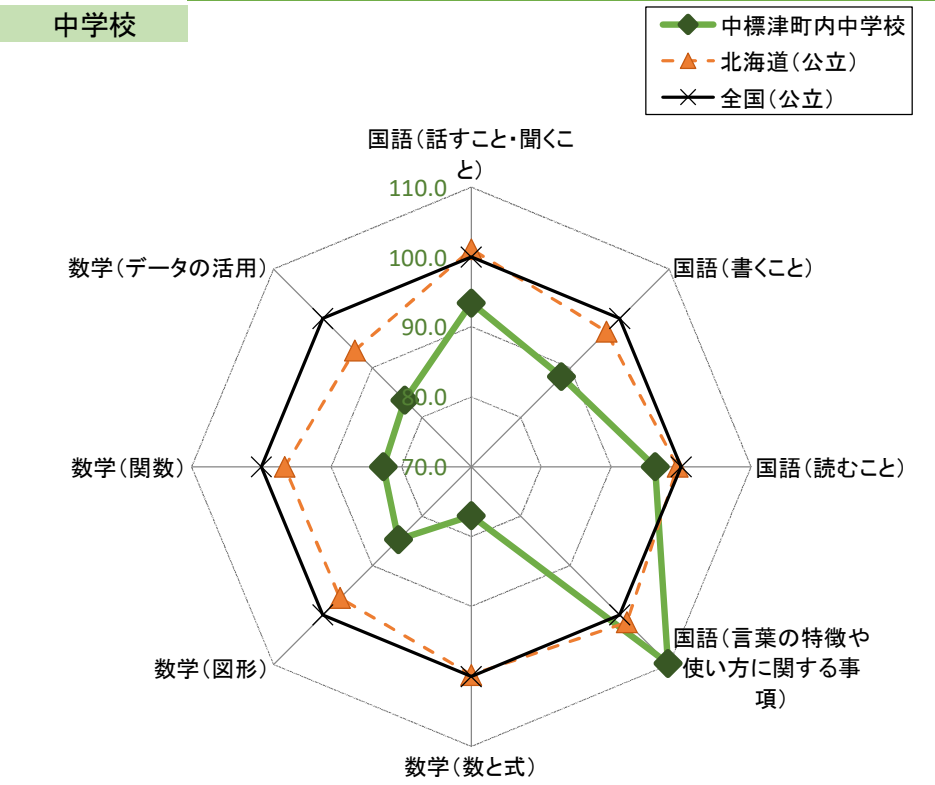
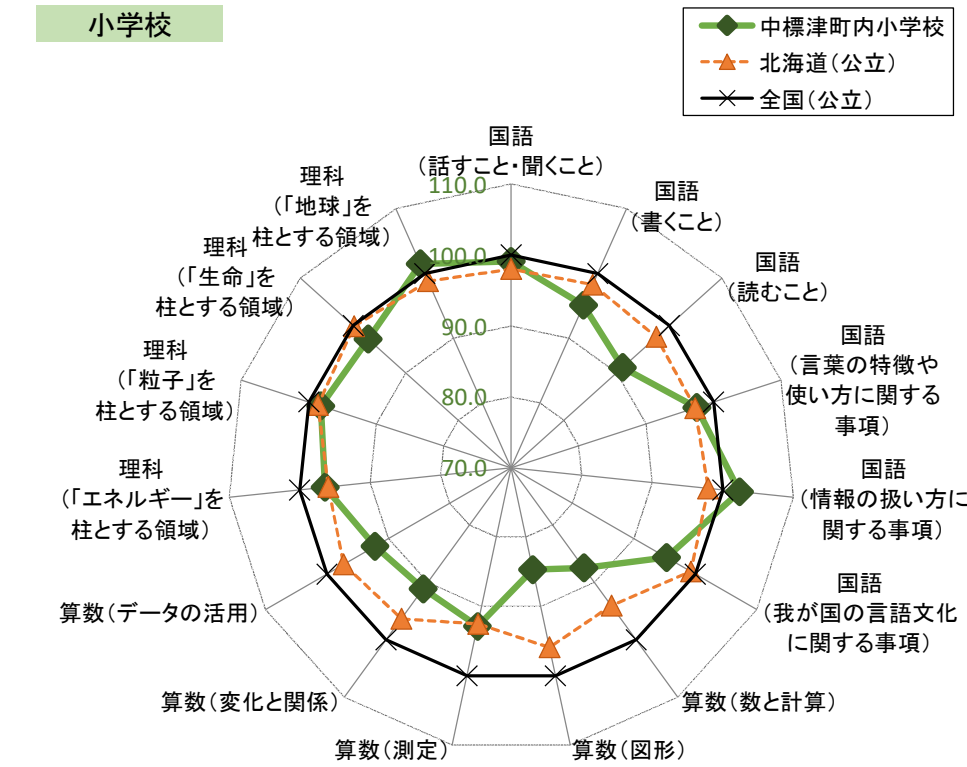


教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

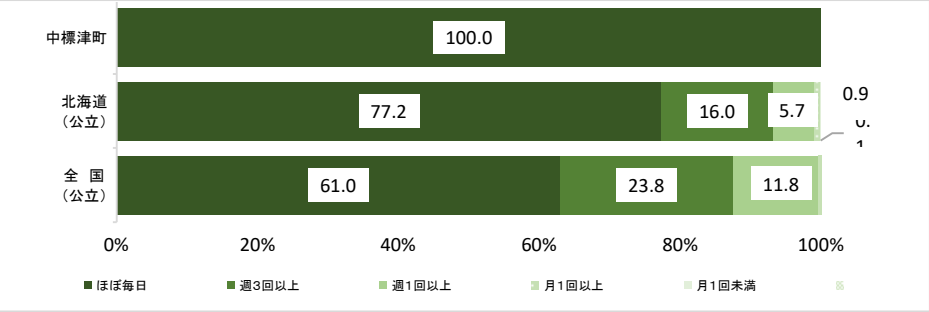
- 教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
- 中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません



質問調査の状況

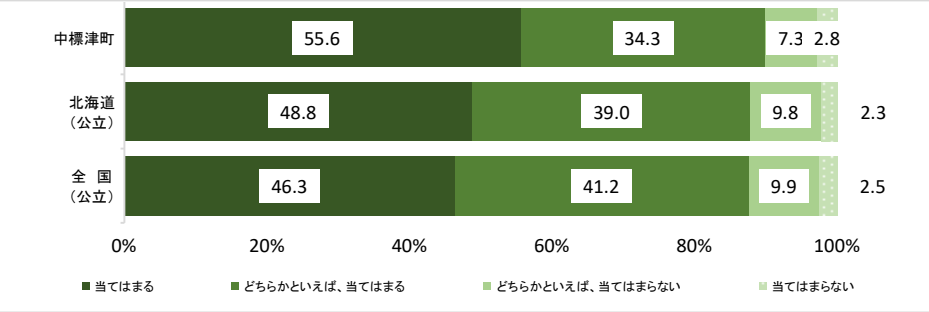
小学校
＜学校質問＞

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



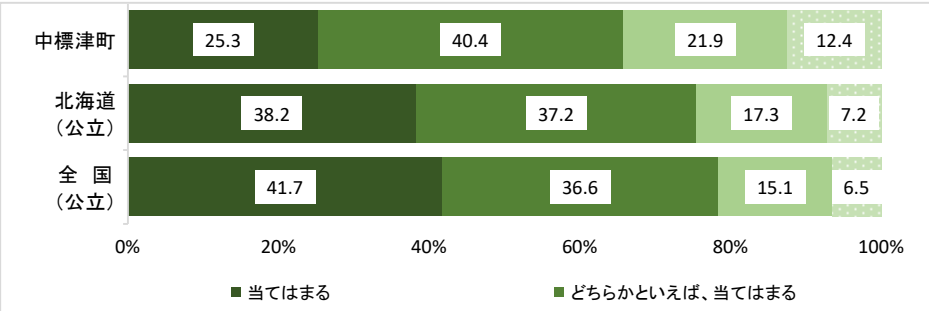
小学校
＜児童質問＞

タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と協力しながら学習を進めることができていると感じていますか



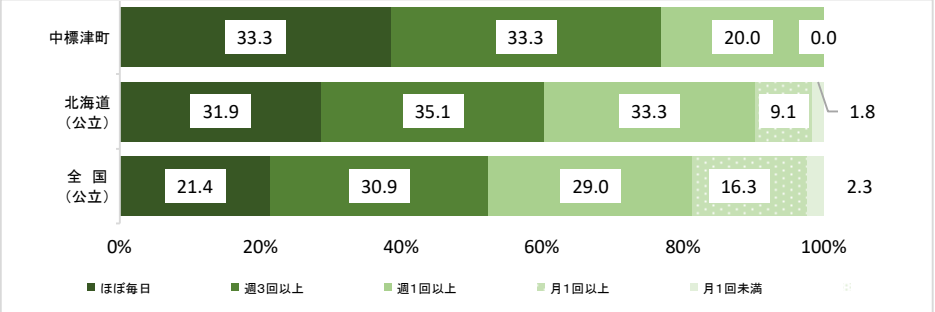
小学校
＜児童質問＞

算数の授業の内容はよく分かりますか



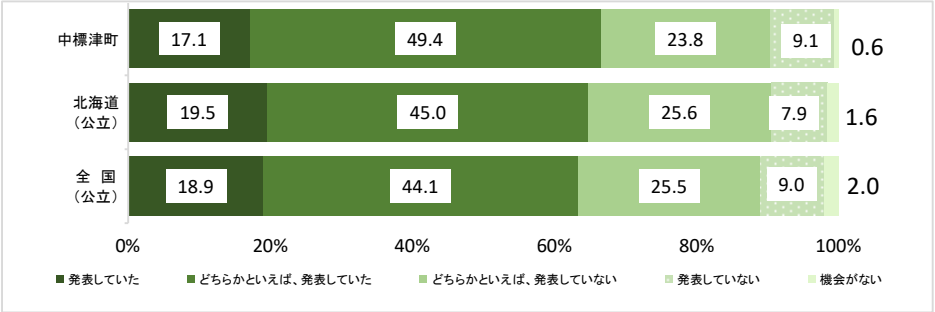
中学校
＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



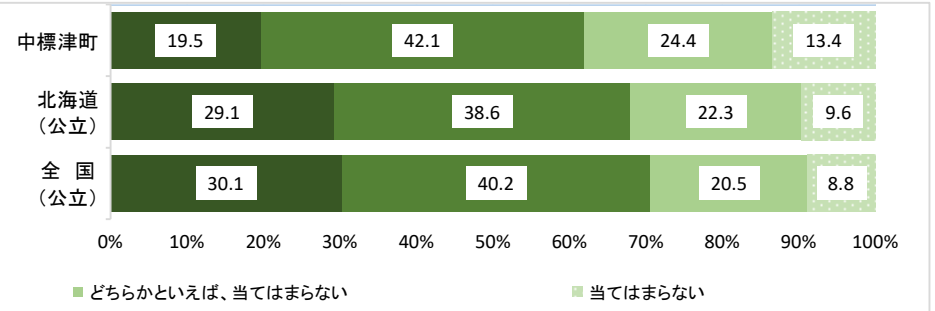
中学校
＜生徒質問＞

自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



中学校
＜生徒質問＞

数学の授業の内容はよく分かりますか



調査結果の分析

成果	小学校において、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で活用することにより、友達と協力しながら学習を進めることができていると感じている児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。この結果から、ICT機器を活用した協働的な学びの成果が表れていると考えられる。
	中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫したと肯定的な回答をした生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。この結果から、ICT機器の効果的な活用の成果が表れていると考えられる。
課題	小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数[数学]の授業の内容はよく分かると回答した児童生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

今後の改善方策

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「中標津町学校改善支援プラン」に基づく「子ども主体の授業」への授業改革の推進
- 「各教科の学びを深める・教科の本質に迫る」ICT機器の活用による協働的な学びの実現を目指す学習の充実
- 各学園の「教育目標」の実現に向けた小・中学校の接続を重視した系統的な教育活動の推進及び保育園・幼稚園から小学校にかけての架け橋期の指導の充実